



スキー協通信

No.435

発行

2021. 6. 1

東京都勤労者スキー協議会

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2大住ビル4F 03-3971-4144

ホームページ：<http://www.tokyoskikyo.org/> E-mail：info@tokyoskikyo.org

ゆうちょ銀行口座： 00110-7-88004 (東京都勤労者スキー協議会)

00140-5-659281 (東京スキー協スキーメイト係)

広報局専用 E-mail：skikyo_koho@yahoo.co.jp

発行責任者

出崎福男

東京スキー協第54回定期総会の開催日程について

通信4月号で総会日程を8月7日とお伝えしましたが、4月1日の理事会で検討の結果、8月7日は三連休初日となるため、1週間前倒して2021年7月31日に開催することとなりました。開催方法は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して書面議決にて行い、役員選挙は郵送による投票とします。詳細は第54回定期総会招集状等でご案内します。

総会議案等の議題は、6月20日開催予定の理事会において審議のうえご提案します。

東京スキー協の事務所移転準備の状況について

通信2月号で事務所移転について今年5月から8月の計画で検討を進めていることをお伝えしました。5月23日現在、23区内で面積、家賃、鉄道駅からの時間等の条件について有望物件が見つかったため交渉に入っています。まだ確定ではありませんが、7月上旬移転を目指し、以下の日程等で準備を進めています。

①5月27日：不用品処分(1回目) ②6月上旬契約 ③6月28日：古紙回収

④7月1日：不用品処分(2回目) ⑤7月上旬引越

移転に伴い、事務所電話番号は変更と見通しですが、FAX番号は変更となります。具体的に決まり次第、ホームページ等で案内していきます。



東北ブロック、東京スキー協関係クラブ合同行事 5月鳥海山山スキー

目次

重要なお知らせ	1頁
連載 気候変動ー地球温暖化を理解する 第4回	2頁
クラブの行事紹介	3頁
リレーエッセイ「雪紋」／6・7月のカレンダー	4頁

【連載】気候変動—地球温暖化を理解する

第4回 温暖化ストップ!! スキーヤーとしてなにをするのか

POWの提言 長野県白馬村を中心に活動する環境団体POW(PROTECT OUR WINTERS JP)は、スノースポーツ愛好者が何をすべきか、提起しています。第一は、学ぶ…気候変動の原因・影響・解決策。第二は、生活を見直す…使うエネルギーを減らす、エネルギーの脱炭素化など。第三は、発信する、です。この三つのテーマは相互に繰り返し実行して行くことが大事です。第一は、3、4月号に出崎さん、5月号に吉田さんが書いていますので、生活を見直す、発信する、を中心に述べてみましょう。

アイドリングストップ 「地球温暖化を防止するため、アイドリングストップを励行しています。そのため冷暖房効果に影響がありますが、お客様のご理解とご協力をお願い致します」このように小田急バスでは、車内放送でアイドリングストップを宣言しています。この車内放送は10年くらい前から小田急バスの全路線で行っているそうです。他の公共交通機関では聞いたことがありません。私が十数年前の6月、新緑の爽やかな季節に、白神山地を歩いた時のことです。五能線十二湖の駅前に大型の観光バスがエンジンをかけたまま停車していました。私は直ぐにバスの車体に記してあるバス会社の電話番号に「この爽やかな季節、冷暖房が必要ないのにエンジンをかけたままなので、直ぐに止めるようにお願いします」と電話をいれると、数分後にはエンジンを止めていただいたことがあります。車のなかで休憩することの多いドライバーの皆さんにとって着衣で調節できる暖房はともかく、冷房を止めることは特に困難でしょうが、地球のためにご協力をお願いいたします。

省エネと節電を 高層ビルと高速道路に囲まれた東京で、自然の風と空気を取り入れた生活は難しいと思いますが、できるだけ冷暖房を使わずに自然に合った暮らしを心がけたいものです。コロナで換気に注意が払われている今日、電車の中でも、事務所でも、自宅でも、窓を開けて換気と自

然の風をできるだけ取り入れましょう。着衣の調節で、冷暖房の使用は抑えたいものです。できるだけ自動車に乗らずに歩きましょう。ヨーロッパでは、航空機の利用を控え夜行列車の乗客が増えていると言います。

今、夏と冬の電力不足が心配されています。特に東京電力管内での供給不足が目立っており、来年2月には供給力5314万kwに対し最大需要が5332万kw、予備率が-0.3%と供給不足による大停電が心配されています。「2016年の電力自由化で新電力に顧客を奪われた大手電力は、収益力を改善しようと発電所を休廃止している。（「朝日」5/24）」燃料コストが高い石油や液化天然ガスの火力発電所の休廃止が供給不足の大きな要因ですが、原発復活のねらいが見え隠れしています。

温暖化ストップ!!の意思表示を 「気候ネットワーク」の調べによると2017年度、日本の温室効果ガスの排出量は12.9億トン・CO₂で、その半分を130の発電所と工場で排出しており、家庭と中小企業、自家用車などは約27%と言います（「赤旗」5/16）。従って温室効果ガスの削減は、個人の努力ではどうにもならないと言うことは明らかです。気候変動を抑止する産業政策、国の政治をどうするかが最大の問題です。温暖化ストップを自分の事として考え行動するうえで、アイドリングストップ、省エネ、節電など一人一人が実行することが大事です。そして、その意思を広く社会にアピールすることが、温暖化をストップさせ、これからも自然の雪でスキーが楽しめる地球を維持して行くために必要でしょう。白馬村の高校生が先頭に立ち、JR白馬駅から村役場までパレードしたように、岩岳スキー場を集団デモ滑降した経験などに学び、私たちも何らかの行動を起こしたいものです。また、気候変動抑止のワッペンやステッカーをスキー板やザックに貼るなどして、日常的に意思表示をしましょう。クラブ・スキー協でのご議論をお願いします。

(2021/5/27 田畑 健)

山スキーと花、平標山の40年

エーデルヴァイス クラブ行事紹介

苗場スキー場の白樺ゲレンデのひとつ奥、近年は花の百名山で人気の平標山（1984m）。6月は頂上から谷川連峰最高峰の仙ノ倉山に向かう登山道は、高山植物のお花畑を求めて多くの登山客で賑わいます。気象条件が厳しく標高1600mを越えると森林限界となり手軽に高山気分を味わえる。そんな平標山に初めて行ったのは40年も前のこと、山の先輩に5月末でも少し登れば滑れる山があると誘われました。

登山道を一時間半の山の家からは残雪があり、スキー靴に履き替え板を担ぎ約一時間で山頂へ。頂上直下の尾根と沢沿いの斜面を滑る感覚はゲレンデでは味わえないものでした。滑ったら自力で登り返し、最後は沢沿いに小屋の直下まで滑走。食事は避難小屋で自炊、これにハマったクラブ員と、翌年から定例のクラブ行事にし、80～90年代は10人～20人が参加する人気行事に。

入会してきたゲレンデスキーヤーに「5月でも滑れるよ、林道の終点から一時間ちょっと登れば…」と半分だまして？会のほとんどの人が一度は参加しました。すっかりハマる人、一度で充分！と言う人も！男性は50リットル、女性でも40リットル以上のザックにブーツ、食器、衣類等を詰め小屋まで標高差400m登ります。20～30代だった会員も歳を数えると体力も…加えて林道は一般車両通行禁止になり、歩く時間も増え、現在は限られた会員の行事となっています。

近年降雪量も減り5月3週の日程がGW頃に、山の家も三代目へ。気が付けば二代目には酒、三代目にはスイーツを手土産に通う仲となりました。そうそう、二代目を須走の富士山大滑降に招待したこともありました。

近頃は6月中旬の花の盛期に再び訪れる「お花見ハイク」に人気が集まっています。新潟の会員も参加し、週末の混雑を避け平日一泊。シニア会員主体となったクラブの現状がなせること。今年は石楠花はどうか、ハクサンコザクラは？と期待が膨らみます。

気軽に日帰りでも登れる山は、一方で上越国境の厳しい気象の側面もあります。事前打ち合わせと装備のチェックを行い必要な物は揃えてもらうことを条件とし、事前に足慣らしハイキングを行い山の経験のない人にも感覚をつかんでもらいます。幸い無事故で行えています。近年は経験者で4月初旬～中旬に登山口から本格的な山スキーも、日帰り可能な山を複数回楽しんでいきます。（増田）


避難小屋



若かりし頃…



仕事の現場から 感じたこと

リレーエッセイ 

東京スキー協 副理事長 星野 昌弘

私は今、学校雑務の仕事に就いています。私の周りでもコロナ禍の影響がひしひしと現れています。

国立成育医療研究センターのアンケート調査によると、コロナ禍による長期休校や行事・活動の制限が多くの子供たちにストレスを与え、小中高生の3割が「学校に行きたくない」と答えていると報告されています。一方の教員も多忙な中で、感染対策の徹底などやるべきことが増え、授業や行事を予定どおり進めることができず、多くの悩みを抱えていると報告されています。

そうした中で私の職場に、元ミュージシャンがパート労働者として入ってきました。コロナにより音楽活動ができずに、止む無く仕事を求めて就職したとのことでした。しかし、仕事は決して甘くなく、要領の得ない彼は週3日の勤務にもかかわらず10日目に挫折し退職すること

になりました。確かに今までの仕事と違い、厳しい部分もあったと思いますが、仕事を続ける自信がないとのこと、せつかく目をかけて面倒を見てきた私にとっては、誠に残念でたまりません。

私の職場の周りですら、コロナにより多くの人が苦しんでいます。そんな中、果たして声なきか弱い人たちに対しどれほど聞く耳を持っているか自問自答してみました。私は、たまたま東京スキー協を通じて、多くの友人ができて趣味のスキー以外でもテニスやハイキングなど、楽しむことを教えてもらいました。しかし、圧倒的に多くの人がコロナ禍のなか、苦しみを声に出せずに苦しんでいるのが現実です。

今こそ、家にこもっている人、声を出せない人に対し、スキー協の仲間への呼びかけを行っていく必要性を感じた今日このごろです。

6・7月のカレンダー

6月	行事名	7月	行事名
3(木)	常任理事会	初旬	常任理事会
12(土)	反核平和マラソン中止	20(火)	常任理事会
13(日)	全国スキー協定期総会	31(土)	第54回定期総会
20(日)	理事会②		
下旬	通信発行/総務局会議		

【訂正とお詫び】

東京スキー協通信5月号記事「中止」とお伝えした鳥海山山スキーは、新型コロナウイルス感染症対策を取って開催されましたのでご報告します。関係者にご迷惑をおかけいたしました。

編集後記 **エビ/シッポ**

5月も半ばに入り、長年心の片隅にあった「断捨離」をそろそろ始めました。まずは毎度読み返しては進まない手紙の処分。ちょっと聴いてはまたしまい込んでいたCDと、プレーヤーもないのに棚の飾りになっていたレコードを買い取り業者へ。ところで親の分と2冊ずつあるスキーメイト、だれかもらってくれませんか？ これは歴史的な資料、捨てられない…。(h.k.)